

笹目中学校の保護者の皆様へ

## 笹中版「家庭教育20の心得」

新入生の保護者の皆様には御入学おめでとうございます。また、在校生の保護者の皆様には引き続きPTA活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校PTAでは、平成24年9月に「いじめを根絶し、いのちの尊さを訴える緊急アピール」を行いました。先生方の御指導とPTAの皆様の御協力により「いじめ」の報告はありません。また、PTAの皆様の「あいさつ運動」への御協力などもあり、学校がたいへん静かで落ち着いてきており、先生方は授業や部活動などに専念できつつあります。そのことにより、学力向上に向けた取組などで戸田市だけでなく埼玉県内でも注目される学校にもなっていました。

そこで、学校の教育効果を一層高めるために、本校生徒の実態に鑑み、笹中版「家庭教育20の心得」を作成しました。つきましては、下記の各項目についてセルフチェックを行い、家庭教育を振り返ってみてください。

### 記

- 1 自分から進んで家族や地域の方へあいさつをしています。
- 2 日頃から言葉づかいに注意しています。
- 3 「早寝・早起き・朝ごはん」等、子どもの基本的な生活習慣の定着に努めています。
- 4 子どもの遊び相手を、ゲームやTVに任せていません。
- 5 毎日子どもとの会話の機会を意図的に設け、話をしっかり聴いています。
- 6 子どもの小さな変化を見逃さず、具体的なよさも見つけほめています。
- 7 家族間で守らなければならない明確な約束があります。
- 8 携帯電話やスマートフォン、インターネット、SNSなどの危険性を理解し、正しい使い方について家族で話し合っています。
- 9 親の都合で一方向的に怒るのではなく、子どもにとって意味のある叱り方をしていきます。
- 10 友だち関係や学校でトラブルが発生したとき、子どもの言い分だけを信じないように冷静に判断するよう心がけています。
- 11 学校だよりや学校からの通知文などによく目を通し、学校の教育活動を理解しようと努めています。
- 12 授業参観や公開授業には、できるだけ都合をつけ学校に足を運んでいます。
- 13 家庭学習を習慣化するために、見届けや励ましをしています。
- 14 子どものしつけや服装などを学校任せにしていません。
- 15 子どもの前で、友だちや先生の悪口を言っていません。
- 16 子どもに、お手伝いやボランティアの機会を与えています。
- 17 学校をよくするための活動や学校行事・PTA行事に積極的に参加しています。
- 18 地域をよくするための活動や地域行事等に子どもと一緒に参加しています。
- 19 親戚や近所などの、身近なお付き合いを大切にしています。
- 20 大人への感謝の言葉を日頃から子どもに指導しています。

平成26年4月8日

戸田市立笹目中学校  
PTA会長 瀧澤 成光

笹目中学校の保護者の皆様へ

## 「いじめ」を根絶し、「いのち」の尊さを訴える緊急アピール

「いじめ」を苦に自らのいのちを絶った痛ましい事件や、心や体に痛手を負う事件が全国各地や本県でも相次いで起きており、社会に大きな衝撃と深い悲しみをもたらしています。言うまでもなく、いじめは絶対に許されない行為です。何げない一言が、相手の心を深く傷つけます。

子育ての当事者である私たちPTA会員が、このような事態を深刻に受け止め、本校では絶対に起こさせないため、いじめの問題の対応を学校任せにすることなく、改めて家庭教育のあり方などを問い直さなければならないと思います。

「いじめ」を根絶し、「いのち」の尊さを子どもたちに教えるため、保護者の責任を自覚し、学校や地域社会との連携を一層密にして取り組むよう緊急アピールをします。

- 一、私たちは、子育ての第一責任者であるという自覚をもち、子どもの健やかな成長に向けた子育てのあり方を再認識しましょう。
- 一、子どもとのふれあいの時間を大切に「いじめは絶対に許されることではない」ということをきちんと教えましょう。
- 一、子どもたちに「いのちの大切さ」を真剣に教えましょう。
- 一、子どもたちの日頃の言動に気を配り、子どもたちが発する小さなシグナルにも注意しましょう。
- 一、「いじめ」に気がいたら、素早く対応しましょう。
- 一、「いじめ」を根絶し、「いのち」の尊さを訴えるため、学校・地域社会・関係行政機関・社会教育団体と連携・協力し取り組んでいきましょう。

平成24年9月1日

戸田市立笹目中学校  
PTA会長 瀧澤 成光